南の国の真夏に挑む体験の旅

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で24回を数え「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月30日から7月4日までの日程で町内2校の小学6年生29名と随行5名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。参加した児童の思い出を、感想文で紹介します。

「沖縄で過ごした五日間を通して」

南富良野小学校
大泉　まどか

私は、この五日間を通してたくさんのことを学びました。

抱負には、戦争のことや、北海道と沖縄の暮らしや文化の違いについて学びたいと書きました。私は、抱負を達成出来たと思います。

戦争のことは、ひめゆりの塔やひめゆり平和祈念資料館、沖縄県平和祈念資料館などで、当時の様子や出来事がくわしくわかりました。

北海道と沖縄の暮らしや文化の違いでは、ホームステイや学校の交流の時によくわかりました。家の造りや食べ物、方言など色々と違いを見つけられました。

沖縄では、たくさんのことを学び、たくさんの思い出が出来ました。

二日目に行った、学校の交流では、とてもきんちょうしたけど、たくさんの人と仲良くなれました。

歓迎夕食会

グリーンフラッシュビーチでは、マリン体験でバナナボートに乗りました。少し怖かったけど楽しかったです。

三日目に行った、海洋博公園内にある美ら海水族館では、初めて見る色とりどりの魚や大きなジンベエザメを見てびっくりしました。

ホームステイでは、沖縄の家庭料理や方言など色々なことが学べたし、ホームステイ先の家族の方と仲良くなれました。

四日目に行ったひめゆりの塔やひめゆり平和祈念資料館で、ひめゆり学徒隊についてよくわかりました。沖縄県平和祈念資料館では、沖縄で起きた地上戦についてよくわかりました。戦争の恐ろしさが改めてわかりました。

この五日間で、たくさん学び、たくさん交流して仲良くなったりしました。そして、たくさんの思い出が出来ました。

YOSAKOIソーランを披露

「沖縄　自主研修のまとめ」

南富良野小学校
加藤　遥香（はるか）

沖縄に行っていろいろなことを知りました。

その中から四つ、紹介したいと思います。

一つ目は沖縄の伝統の踊り、エイサーという踊りを知りました。

エイサーは祖先の霊を送げいするために若者たちが歌やはやしをつかっておどるものです。私はエイサーを映像でしかみたことがありませんがかっこいいと思いました。それは踊りながら沖縄の町を歩いてるからです。だから一度、本物を見てみたいと思いました。

二つ目は戦争についてです。

ひめゆりの塔に行ったり、平和祈念資料館を見学して戦争の恐ろしさ、厳しさが写真などを見てわかりました。だから日本は戦争をしてはいけないと思いました。

三つ目は沖縄の方言についてです。

伊豆味小児童との交流

心に残った方言は、「なんくるないさー」と「いちゃりばちょーでー」という言葉です。

なんくるないさーとは挫けずに正しい道を歩むべく努力すればいつか良い日が来るという意味でとてもいい言葉だなと思いました。

次にいちゃりばちょーでーという言葉で、意味が一度、出逢ったら皆、兄弟のように仲良くしようという意味でこれを初めて聞いた時、沖縄の人が優しいのはこの言葉があるからじゃないかなっと思いました。

四つ目は海について思ったことです。

北海道の海は汚いですが沖縄の海はとてもきれいで珊瑚が水中メガネをしなくても見えるのですごいと思いました。

沖縄の海は北海道の海より味があっさりしていましたが、北海道の海は味が濃いので海の匂いがちがいました。

最後に体験や見学で楽しかったことは、美ら海水族館でジンベエザメを見たり熱帯植物を見たりホームステイが楽しかったです。

美ら海水族館ではヒトデに触ったり熱帯魚を見たりしました。とてもワクワクしたのはジンベエザメとマンタとエイです。

熱帯植物はハイビスカスやコチョウランを見ました。私のおじはハイビスカスを育てていますが沖縄よりあまりきれいに咲いたりしなかったので沖縄のハイビスカスはとてもよかったです。

ホームステイでは、仲田結愛ちゃんのお家でさせてもらうことになりました。それでドライブにつれていってもらいました。ドライブでは私の見たことのない沖縄の町や家につれていってもらいました。沖縄の町はとてもにぎやかでした。海では夕日がしずんでゆく景色が見れたしきれいな貝がらを拾ったりしました。もっと貝がらをいっぱいとりたかったです。ドライブが終わったあとはバーベキューをしました。沖縄でしか食べれないつけものを食べたりしました。とてもおいしかったです。食べ終わったあと花火をしました。とてもきれいな花火で楽しみました。

ホームステイの家族はとても優しくてすてきな家族でとても楽しいホームステイになりました。

ありがとうございました。

美ら海水族館

「沖縄！」

南富良野小学校
嶋影　いつき

生まれて初めての沖縄はすごくすごくあつかったです。あつくても4泊5日の南の国の真夏に挑む体験の旅はすごく楽しかったです。

一番楽しかったことはホームステイです。とても元気のいい家族でした。とくにお母さんが一番元気でした。元気だしやさしいし、いいおうちに泊まれてよかったです。夜はおいしいごはんを食べれたし花火もできてとても楽しかったです。そしてもう一つよかったこと、沖縄に行く前から決めてたこと、いろんなことを体験したり、学んだり、友達をつくることそして最高の思い出をつくることです。

ハブショー見学

体験で楽しかったことはバナナボートに乗ったこととおよいだことです。バナナボートでは、はねたり右や左に曲って落ちそうになったり水しぶきで海のしょっぱさを味わえたりとても楽しかったです。泳いでいる時いろんな魚を見れてよかったです。青色の魚やにじいろの魚、長細い大きな魚などいろいろいました。

次は戦争についてです。戦争で学べてよかったのは人の気持ちです。「生きたい」ではなく、「死にたい」と思う人が多いことにびっくりしました。私は、今「生きたい」と思うけど、もし私が戦争を体験したら「死にたい」と思うのかなと思いました。戦争のおそろしさを映像やひめゆりの塔、平和の礎であらためてよくわかりました。戦争はもう二どとやりたくありません。

最後は友達をつくること最高な思い出をつくることです。伊豆味小学校でやったレクや本部小学校でやったレクなどでいろんな人とふれあえていろんな人と話せて友達になれました。友達がつくれてよかったです。そして一生忘れられない思い出をつくることができました。サプライズたん生日ケーキ、バナナボート、ホームステイなどなどまだまだたくさん思い出ができました。本当に最高に楽しかった4泊5日の南の国の真夏に挑む体験の旅でした。それは、

エメラルドビーチ